

●「魅力都市さっぽろシティプロモート戦略(案)」のパブリックコメントの実施について

札幌市では、「魅力都市さっぽろシティプロモート戦略」の素案に対するパブリックコメントを実施します。

同案は、札幌市の個別の事業が、札幌の魅力として一貫した都市イメージを結ぶように、統一的で効果的な都市メッセージを世界と市民に向けて発信していくための戦略をまとめたものです。庁内横断的な協議を行う「創造都市さっぽろ・シティプロモート推進本部」や、産業や観光などのシティプロモート分野に知見の高いメンバーで構成される官民連携会議「シティプロモート戦略会議」において検討を重ね、策定に至りました。

札幌がより魅力あふれる街になることを目指し、市民とともに取り組んでいくためにも、多くの意見が寄せられることを期待しています。

1 戦略の概要について

(1) シティプロモート戦略のゴールと基本方針

- ① ゴール「笑顔になれる街」
- ② 基本方針
 - ・魅力の再発見 「行きたいまち」から「住みたいまち」へ
 - ・魅力を味わい発信する 「札幌・北海道の魅力を支え、発信するまち」へ
 - ・魅力の創造 「新たな挑戦を支援するまち」へ

(2) 個別戦略事業

3つの基本方針に沿って、「第3次札幌新まちづくり計画」の中で着実に実施していく。

① 魅力の再発見

他市町村と連携した魅力発信（道内中核都市観光連携協議会^{※1}、北海道内都市経済活性化会議^{※2}等によるPR連携など）、都心まちづくりの推進、環境首都の推進等

※1 観光振興に関する連携推進のため、平成23年4月に道内6市（函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市）で設立。

※2 経済や産業の発展を目指し、連携・協力のあり方等について意見交換するほか、情報を集約して発信したり、協力して事業に取り組むための会議として、平成22年8月に道内10市（旭川市・江別市・小樽市・帯広市・北見市・釧路市・苫小牧市・函館市・室蘭市・札幌市）で設置。

② 魅力を味わい発信する

姉妹都市や国際交流の促進、6次産業の活性化、広域連携、ウインタースポーツの振興等

③ 魅力の創造

創造都市さっぽろの推進、アジア圏交流促進、コンテンツ特区構想、雪まつり魅力アップ、MICEの推進、文化芸術振興等

(3) 重点取り組み分野

波及効果の大きな分野への重点的な取り組みにより、魅力の増幅・拡大へつなげる

- ① MICEによるプロモート
- ② 映画・コンテンツによるプロモート
- ③ 食によるプロモート
- ④ 滞在期間の拡大によるプロモート
- ⑤ 創造的な活動による都心活性化

2 パブリックコメントの実施について

- (1) 募集期間（予定）：平成 23 年 11 月 16 日（水）～平成 23 年 12 月 16 日（金）（必着）
- (2) 公表場所（予定）：政策企画部企画課、市政刊行物コーナー（市本庁舎 2 階）、各区役所で配布するほか、ホームページ^{※3} (<http://www.city.sapporo.jp/citypromote/pc/>) でも公開。
※3 パブリックコメント開始と同時に開設予定
- (3) 応募方法：政策企画部企画課へ郵便（〒060-8611 中央区北 1 条西 2 丁目 市本庁舎 10 階）、ファクス（218-5109）、E メール（citypromote@city.sapporo.jp）で送付または持参。

問い合わせ先

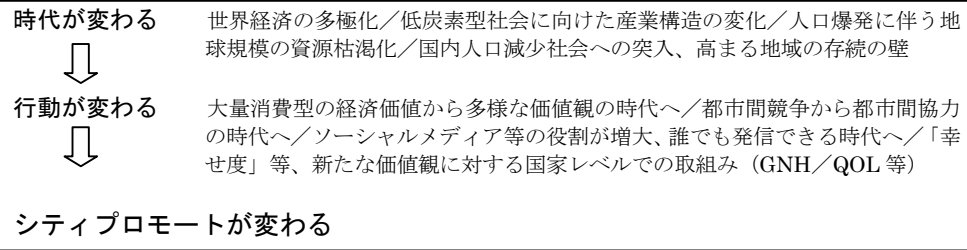
市長政策室政策企画部企画課 北川・中嶋・川上
電話：211-2192

魅力都市さっぽろシティプロモート戦略【概要版】(案)

I シティプロモーターの目的と役割

1. シティプロモートの考え方

～パラダイムが変わる。今こそ価値観の転換が必要～



2. シティプロモートの目的と役割の変化

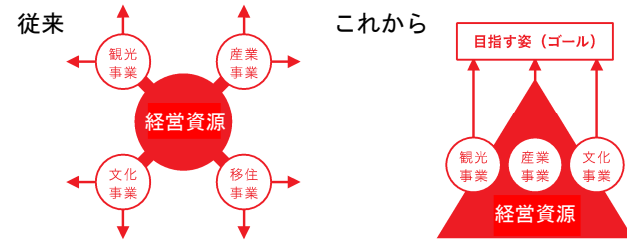
～他都市と比較を超えて「札幌の魅力」をアピールしよう～

- 創造性や多様性で都市の魅力をつくりだす
- 市民が誇りを持って内外に訴求できるようにする
- 札幌らしいライフスタイルの中から生まれる魅力を発信する
- 世界の都市と多様な関係をつくりだす

3. シティプロモート戦略の位置付け

～ひとつひとつの活動が「札幌らしいライフスタイル」に～

札幌市のシティプロモート戦略は、都市の目指す姿に向かって個別の事業を推し進めるためのエンジン。個別の事業が、札幌の魅力として一貫した都市イメージを結ぶように、統一的で効果的な都市メッセージを世界と札幌市民に向けて発信する仕組みです。



4. シティプロモート戦略の課題

～結果を出しながら柔軟に対応する～

- ゴールを示し、ゴールに向かう取り組みの成果を出し続ける
- 常に見直し走りながら考える柔軟で継続的な体制づくり
- 庁内と産・学・民との連携体制づくり
- 一体的、横断的、戦略的な展開

II 札幌のポジショニング

1. 札幌の姿

- 世界中の中の札幌・・・雪降る大都会
- 日本の中の札幌・・・最北の拠点都市
- 北海道の中の札幌・・・人&モノのハブ&ゲート
- 都市としての成り立ち・・・若い実験都市

2. 札幌の見え方

- 市民・・・好きな街、ずっと住みたい街。
- ブランドイメージ・・・札幌は日本で一番魅力的な街。食が大きな魅力の観光都市。
- 有識者ヒアリング・・・ストレスフリーで過ごしやすく暮らしやすいイメージ。楽しいライフスタイルを持てる街。
- 札幌市シティプロモート戦略会議・・・楽しいライフスタイルや生活文化があり、住みやすい街。恵まれている素材や独自のライフスタイルの価値を市民が気づき世界に発信することが必要。

3. 札幌の魅力資源

<p>＜自然資源＞ 変化の鮮明な四季/豊かな森林資源/多様な野生動物/市民による環境ムーブメント/豊かな水資源</p> <p>＜都市環境＞ ストレスフリーな居住環境/政令市一多様な公園/開拓時代の歴史的建造物/気候と歴史に由来する都市景観</p> <p>＜産業資源＞ 成長するクリエイティブ産業/IT産業集積/年間6m以上の雪降る190万都市の寒冷地技術</p> <p>＜イベント資源＞ 年間を通じて行われる多彩なイベント</p> <p>＜人材資源・気質＞ 寛容な札幌の市民気質/若い人の活躍できる場所/ソフトパワーの源泉となる人材</p>	<p>＜都市基盤＞ 歴史に由来する整然とした街並み/都心に行きやすい公共交通ネットワーク/都心の回遊を支えるネットワーク/渋滞の少ない道路網/市外との良好なアクセス/東京以北最大の商業集積/北海道の医療拠点/北海道の学術都市</p> <p>＜文化資源＞ 全国イベントの行われる文化施設/多彩なプロスポーツの本拠地/国際的なスポーツ大会会場</p> <p>＜食資源＞ 北海道食材の多様な販売チャネル/素材を活かす食文化/札幌発信の食文化/おいしい飲料水</p> <p>＜レクリエーション資源＞ 近接しているアウトドアスポット/近接しているレクリエーション施設</p> <p>＜制度資源＞ 参加のできるまち</p>	<p>魅力資源の掛け合わせによる相乗効果</p> <p>札幌らしい文化、札幌らしい産業の創造</p> <p>魅力の再発見による札幌らしいライフスタイル、札幌らしい産業の創造</p>
--	---	--

ロゴイメージ

SAPPORO

笑顔になれる街。
Sapporo makes you smile.

【解説】

“SAPPORO”は、札幌が笑顔の街であることを伝える印です。“SAPPORO”は、いわばデザインしていないデザイン。誰もがメールやポスターで気軽に発信できる汎用性があり、笑顔の印象を的確に伝えます。また、シンプルに笑顔を彷彿とさせ、様々なシーンに汎用できます。

○なぜ笑顔なの？

「I♥NY」を超えるような普遍性のあるキーワードって何だろう？

人口獲得や外貨獲得だけで判断しない視点がほしいなあ…



そうか！笑顔だ！

「札幌の人はいつも笑顔で暮らしていますね。」
これこそが憧れの地。
笑い声と笑顔のあるところに人は集まってきます。
だから、笑顔こそ最高のプロモーション。
そのためには、観光客だけではなく、札幌市民も札幌市職員も笑顔でいたほうがいいですね。

地域愛を別な言葉で表現できないかなあ？

幸福度のようなアプローチを想起させる言葉ってある？

III シティプロモーターのゴール

○笑顔による具体的プロモーション

美味しいものを食べて「笑顔」になろう
豊かな自然と芸術文化で「笑顔」になろう
癒しと高揚感ある観光で「笑顔」になろう

笑顔は世界共通です。お互いの言葉がわからなくても気持ちを伝えることができます。
観光客に向けても、市民に向けても、市役所内に向けても共通して取り組んで、その効果は絶大です。
ゴールの状態が写真や映像として表現できるので説明性、共有性、訴求性に優れています。

環境にやさしく未来の子どもたちも「笑顔」にしよう
スポーツと健康でいつまでも「笑顔」でいよう

北海道を支え北海道を楽しんで「みんなで笑顔」になろう
都市間競争より助け合って「笑顔」を守ろう

○笑顔の持つメッセージ性

「家ごとにリラの花咲き
札幌の人は楽しく生きて
あるらし」吉井勇
～札幌は楽しい街という
イメージ

札幌は笑顔になれる街。
～札幌市民の9割以上が「札幌が好き」

観光客を笑顔で迎えるホスピタリティ

子どもにやさしいまち。
～子どもの権利条例
平成21年4月施行

あなたの笑顔を曇らせない。不快感の少ない街。

子どもたちの笑顔を守るためなら大人たちは協力し合えるはず。

困難はみんなのアイデアで笑って乗り切ろう。

人口減少社会でも笑顔の数は減らしません。

だから、札幌市のシティプロモートは
笑顔をふやすことをゴールとします。

IV 基本方針

1. 3つの基本方針

(1) 魅力を再発見する ～ 「行きたいまち」から「住みたいまち」へ

《行動指針》

- I) 生活を楽しむ札幌人のライフスタイルに根差した、住んで楽しい札幌をPRすることで、市民が楽しむ多様性を発信し、従来のイメージとのギャップを解消していきます。また、都会の利便性と豊かな自然が融合したストレスの少ない暮らしを発信します。
II) 札幌がすでに持っている魅力を守り、歴史を未来に伝えることでまちに誇りを持ちます。また、自分達のまちを理解し、シビックプライドを醸成する教育や広報を進めます。
III) 自然豊かで環境にやさしい街という都市ブランドを定着させ、世界に発信します。エコライフの定着や環境産業振興を通じて、環境首都としてふさわしい都市ブランドを発信していきます。

(2) 魅力を味わい発信する ～ 「札幌・北海道の魅力を支え、発信するまち」へ

《行動指針》

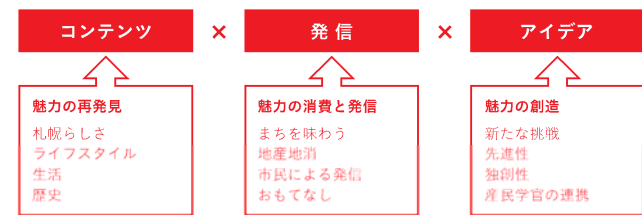
- I) 道産品の消費、道内観光など道内経済循環や道内交流人口を高め道内経済活性化のエンジンを担います。そして、札幌がメディアとなり、北海道のショーケースとして、札幌の魅力を支える、北海道の魅力を発信して、道内他都市との協調を進めます。
II) 道内、国内において、都市間競争による奪い合いではなく、都市間協力による助け合いでともに生き残りを図ります。また、グローバルな都市間連携やネットワークづくりを推進します。
III) 市民がまちの魅力を再発見、創出し、市民によるおもてなし力の強化と市民による魅力発信を進めます。

(3) 魅力を創造する ～ 「新たな挑戦を支援するまち」へ

《行動指針》

- I) 新興市場に向けた外貨獲得の取り組みや波及効果の大きな産業への大胆な投資により国際競争優位性を勝ち取ります。
II) 雪、食、音楽、映画、スポーツ、健康など、札幌のライフスタイルから生まれる魅力産業の創造を産民学官の連携により推進します。
III) アイデアやホスピタリティなど、これからの札幌を支える人づくりを支援します。まちの寛容さを高めることにより、創造性の高い人材が集まり、仕事も生活も楽しめるまちづくりを進めます。

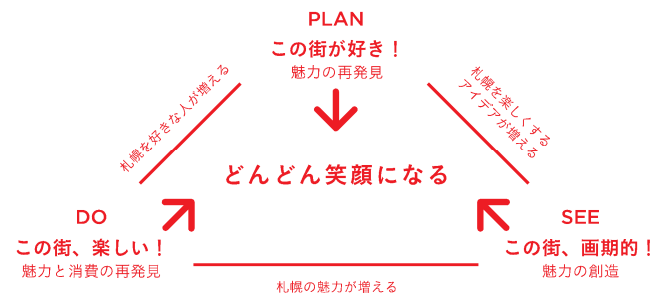
2. 札幌の魅力が伝わるプロモーション



従来のプロモーションは「コンテンツ」×「発信」でしたが、それに新たな創造性、「アイデア」を掛け合わせて、魅力の再生、創造を図ります。

シティプロモートでは、都市の魅力となる「コンテンツ」、それを楽しむ生活の中から生まれる「発信」、そしてその魅力をさらに発展させる「アイデア」のそれぞれを掛け合わせて、札幌の魅力を内外に訴求していきます。それは札幌で暮らす魅力を一層多様で豊かなものにしていくプロモーションであり、魅力を楽しむ札幌市民のライフスタイルから生み出されるプロモーションです。

3. 効果のポジティブフィードバック



札幌の魅力を知り、楽しむことが発信を生み、札幌を好きな人を増やしていきます。また、札幌の魅力が増えれば、新たなアイデアや行動が生まれ、札幌を好きな人を増やしていきます。シティプロモートでは、個々の事業が相互に作用しながら好循環を生み出すように、戦略的に展開していきます。

1. 事業展開の視点

～この事業をやることで笑顔になれますか～

Dialogue bubbles asking 'その事業で誰かの笑顔が浮かんできますか?' and 'その制度で困った顔が笑顔に変わりますか?' with 'SAPP_RO' in the center, and another asking 'その事業を続けて笑顔が広がっていきますか?' and 'あなたも笑顔ですか?'.

- ＜事業展開の視点＞
○「明確な対象設定」
○「時間軸による検証」
○「変化するニーズへの対応」
○「モチベーションの継続」

2. 個別戦略事業 (一部)

魅力を再発見 「行きたいまち」から「住みたいまち」へ

- シティプロモート推進 ○都心まちづくり戦略事業化推進 ○都心エリアマネジメント推進事業
○札幌駅交流拠点まちづくり推進事業 ○大通交流拠点まちづくり推進事業 ○南一条まちづくりの事業化検討
○生物多様性推進事業 ○札幌省エネアクションプログラム ○次世代エネルギーパーク推進事業 など

魅力を味わい発信する 「札幌・北海道の魅力を支え、発信するまち」へ

- 姉妹・友好都市青少年未来プロジェクト事業 ○北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進
○多文化共生推進事業 ○世界冬の都市市長会関連事業 ○6次産業活性化推進補助事業
○国内観光進行事業 ○広域連携による観光振興 ○おもてなし推進・レベルアップ事業 など

魅力の創造 「新たな挑戦を支援するまち」へ

- 創造都市さっぽろの推進 ○創世交流拠点まちづくり推進事業 ○創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業
○札幌圏みらいづくり産業立地促進事業 ○アジア圏等交流促進事業 ○札幌テクノパーク・リノベーション推進事業
○さっぽろ雪まつり魅力アップ事業 ○雇用創出ニュービジネス立地促進事業 ○シティ・リゾートウェディング推進事業など

3. 重点取組分野 (展開例)

(1) MICEによるプロモート

- 札幌のMICE力を高めていくための、MICEサミット・コンテンツトレードショー、札幌GreenerWeekなどの開催。○国際的スポーツイベントの誘致 など

(2) 映画・コンテンツによるプロモート

- 映画製作誘致(フィルムコミッション活動)等による映画を通じたプロモート ○多様なコンテンツ、タレントによる発信や市場・催事等の形成 ○多様なコンテンツ・人材の受け入れや育成 など

(3) 食によるプロモート

- 食産業や観光の進行も視野に入れた総合的な食の安全、安心の施策の推進
○既存の食イベント(オータムフェスト、サポロハラス等)などと連動したプロモート催事の展開
○地域商社の創設の検討 ○札幌発「蝦夷前寿司」の世界的プロモート など

(4) 滞在期間の拡大によるプロモート

- 著名アーティスト等への滞在誘致や創作活動の場のコーディネート
○二地域居住者による札幌のライフスタイルの発信(ワッター等のCGM、雑誌化等)
○地元関連人材や在札幌経済人などとの交流の場の創出 など

(5) 創造的な活動による都心活性化

- 創造的活動の場確保の支援、コーディネート ○都心における創造的活動への規制緩和・PR支援
○空ビル・空スペースの創造的活用による都心再生 など



4. 東日本大震災に向けた取組

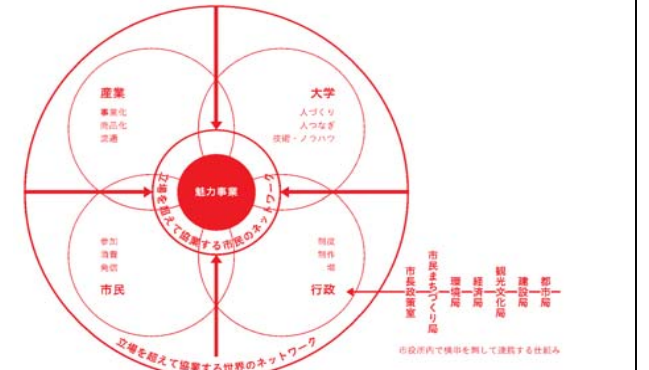
- 被災地への人員派遣・物資提供、避難者の受入 ○被災者を支援する活動

1. シティプロモート推進の基本的考え方

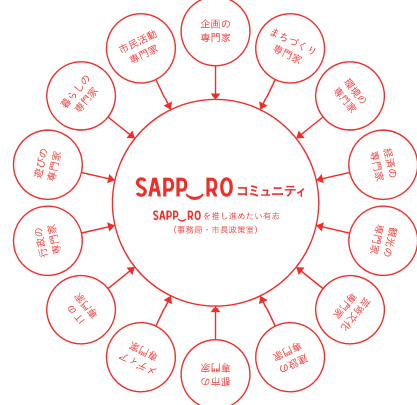
○産民学官の新たな関係(役割分担)
市民や企業自身が、自らの価値観に基づいて事業を起こしていく必要があります。

○創造は組織する(発想法)
魅力事業の発想そのものが、事業を起こすチームを編成していきます。

○共感と信頼(発信法)
市民からの発信や共感を大切にするとともに、職業や身分、国籍の枠を超えて信頼関係で結ばれたフラットなソーシャルネットワークによる事業構築や発信を基本にします。



2. シティプロモートの推進イメージ



市役所には市内のあらゆる情報が集まります。ここで集約される情報を活かし、笑顔に向かうシティプロモートを継続的に推進していくことが、これからの時代に求められる市役所の新たな役割です。札幌市は、シティプロモートの推進力となるキーパーソンをコーディネートし、「SAPP_RO コミュニティ」を設けます。SAPP_RO コミュニティは、フラットなソーシャルネットワークの展開、シティプロモートキャンペーンの実施、個別プロジェクトの支援や重点戦略事業のコーディネート等、多様な活動を繰り広げて行きます。

Table with 3 columns: '笑顔につながる主体的な民間活動の展開', '事業例' (サポーターズネットワーク運営, 札幌すまいるキャンペーン実施, etc.), and '笑顔につながる公的機関の各種事業の実施'.

V シティプロモートの展開

VI シティプロモートの推進